ボーイズリーグ
（公財）日本少年野球連盟　三重県支部

承認番号　NN-5-32

サラスポーツ杯
第43回日本少年野球小学生ジュニア東海大会

日　　時	令和5年11月25日（土）・26日（日）・12月2日（土）
試合会場	四日市霞ヶ浦第一野球場・霞ケ浦第三野球場
主　　催	SARASPORTS・公益財団法人日本少年野球連盟　三重県支部
協　　賛	株式会社エスエスケイ
後　　援	（公財）日本少年野球連盟　愛知県東支部 （公財）日本少年野球連盟　愛知県西支部 （公財）日本少年野球連盟　愛知県中央支部

Japan Boys League Baseball Foundation

公益財団法人日本少年野球連盟定款　第3条（目 的）

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と スポーツマンシップを理解させることに努め、規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、もって次代を担う少年の 健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人　日本少年野球連盟
会長　惣 田 敏 和
（本部）〒556-0004　大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19
南海日本橋ビル2階
TEL:06-6649-0061　FAX:06-6647-8989

公益財団法人
日本少年野球連盟

第43回日本少年野球小学生ジュニア東海大会

《 大 会 役 員 》

大会会長	三林隆道
大会副会長	松島誠
大会運営委員長	堀田健二
大会運営副委員長	中山貴資
	大橋甚
大会運営委員	山田晋也
〃	尾上智也
〃	石橋正弘
〃	岩本宗幸
〃	阪本剛
〃	松本栄次
〃	村田真人
〃	新井勝彦
〃	溝口公二
〃	西村文雄
〃	野沢典子
〃	林透
〃	加藤剛司
〃	丹羽英之
〃	大竹香太郎
〃	高村治
〃	鈴木博貴
〃	星野直之

（大会顧問）	
連盟名誉会長	藤田英輝
連盟会長	惣田敏和
連盟副会長	工藤眞一
連盟専務理事	大冨肇
連盟常務理事	岡陽一
連盟常務理事	飯田研二
連盟常務理事	吉岡正人
特別相談役	堀内健
（大会相談役）	
中日本ブロック長	松本行弘
連盟理事	伊藤裕章
〃	榊原隆宏
連盟理事待遇	杉浦真一
〃	松尾勝
〃	藤本善一
〃	伊藤大輔
相談役	出口紀幸
〃	山下直樹

（参与）

愛知県東支部支部長	富田敏正
愛知県中央支部支部長	東亜行
愛知県西支部支部長	渡会武則

審判員

大会審判長	中川昭
三重県支部審判部	一同

サラスポーツ杯第43回日本少年野球小学生ジュニア東海大会規定

1. 1チームの登録選手は小学5年生以下の9名以上20名以内とする。
2. 出場選手は令和5年大会の締切現在登録済みの者に限る。
3. 審査証は令和5年度発行のものとする。
4. 登録選手及びチーム責任者（代表又はそれに代わる責任ある者でチーム責任証を携帯している者）、登録された監督、コーチ、マネージャーのみがベンチ入ることができる。
   但し、各種登録証（チーム責任者、監督、コーチ）及び審査証（選手）を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチに入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間に合った場合は審査のうえベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間に合った場合は、その時点でベンチ入りを認める。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。万一、チーム責任者が不在の場合は試合できない。
5. 組合せの若番号が一塁側のベンチ、後番号、三塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
6. 監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は選手と同じユニホームを着用する。
7. 試合開始予定時間60分前に試合会場に到着し、所定の審査を受けて直ちにオーダー表5部を審判部に提出しなければならない。
8. オーダー表交換時に「球場責任者、監督、審判員立会いのもと」両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始予定時刻までにチームが試合場に現れない時、球場責任者と責任審判員が協議の上審判は、没収試合を宣言することができる。
10. 各試合は5回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は開始から1時間30分を超えた場合、新しいイニングには入らない。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則4・11（d）により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能のなった場合は、サスペンデットゲームとする。
11. 4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
12. 5回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長6回（決勝戦は7回）あるいは試合開始から1時間30分（決勝戦は1時間50分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らずタイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
13. 投手は、1日65球以内、連続する2日間で105球以内とする。
    ダブルヘッターでの連投は認めるが投球数を65球以内とする。
    小学生の投手の変化球を禁止する。
    日程等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前大会参加状況報告書」を次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛に提出しなければならない。

14. 攻守で監督またはコーチの指示・伝達は1試合で各2回の4回を限度とする。延長、タイブレークに入った場合1回の指示・伝達を認める（選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない）。守備側の投手に対する指示・伝達が3回となれば、自動的に投手交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
内野手（捕手を含む）が2人以上投手の所にいったときも1回に数える。また、指示・伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする
15. 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置に着くことができるが、同イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板できる。
16. 監督、コーチ及び選手は審判のジャッジに対して、絶対に服従し、抗議することは厳禁する。但し、規則上の疑義申し出については、監督または問題の当事者のみが審判に説明を求める事ができる。この場合「3分以内」に規制する。
17. 監督又はコーチが選手にアドバイスをする時は、マウンドのところまで行っておこなうこと。（勿論ベンチより駆け足で、グランドコート等を着用の場合は脱衣のこと）
18. 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで打者にコースや球腫を伝える行為を禁止する。
19. ﾎﾞｰﾙ回しをする時は一回りとし、最終野手は、その位置から返球する。また打者が打撃を継続中塁上でで走者がアウトなった場合のボール回しは禁止する。
20. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
21. 攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチボックス内でベースコーチを努めても良い。（但し両耳付きヘルメットの着用すること）
22. 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2組を備えること
23. ユニフォーム及びバット、スパイク、クラブ等は連盟指定業者のものに限る。
24. 捕手は必ずユニフォームの下に指定防具を試合及び練習を問わず着用すること。
25. グランドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合はそれに従うこと。
26. 光化学スモッグ発生（予報、注意報、警報）の場合、試合及び選手に対する処置は別に定め、運営委員の指示に従う。
27. 試合前のシートノックは行う。
28. その他は2023年公認野球規則及び日本少年野球連盟（ボーイズリーグ）大会規定に準ずる。

参考

野球規則4，11(d)

4,12(a)によりサスペンデッドゲームにならない限りコールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合はサスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

（1）ビジティングチーム（先攻チーム）がその回の表で得点してホームチーム（後攻チーム）の得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

（2）ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

（1）特別規則

（イ）小学生の部は延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて（いずれか早い方）決勝戦は9回あるいは2時間00分を超えて（いずれかの早い方）両チーム得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態からおこなうものとする。

（ロ）打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者とする。

（ハ）この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者が三塁走者となる。

（二）この場合の代打および代走は認められる

※（イ）の延長7回及び1時間40分、決勝戦は9回あるいは2時間00分は、小学生ジュニアに合わせ延長6回及び1時間30分、決勝戦は9回あるいは1時間50分にそれぞれ読み替えることとする。

以上

公益財団法人
日本少年野球連盟

サラスポーツ杯　第43回日本少年野球小学生
ジュニア東海大会トーナメント表

日本生命　エイジェック　SARA SPORTS

【試合開始時間】

11月25日（土）	霞第３球場	12月2日（土）	霞第1球場
第１試合	9:00	第１試合	10:00
第２試合	11:00	表彰式	11:30
第３試合	13:30		
11月26日（日）	霞第３球場	12月16日（土）	
第１試合	9:00	（予備日）	
第２試合	11:00		
第３試合	13:30		

ジュニア大会出場チーム

登録メンバー表

※順不同

＜記載例＞

チーム名			
代表			
監督			
コーチ			
マネージャー			
背番号		氏名	学年
	主将		

四日市ボーイズ			
代表		堀田　健二	
監督		瀬河　博	
コーチ		浅野　允希	
マネージャー		山本　達也	
16	主将	藤井　大輔	5年
17		太田　陽翔	5年
19		金谷　稜也	5年
26		河村　煌聖	4年
27		金谷　紘希	4年
28		早坂　蓮央	4年
36		橘　歩汰	3年
37		小寺　七翔	3年
38		池上　莉玖	3年
41		有竹　蒼太朗	2年
51		小寺　朝陽	1年
52		佐藤　陸橙	1年

小坂井・岡崎中央合同ボーイズ			
代表		鈴木　将	
監督		小澤　孝弘	
コーチ		野村　高志	
マネージャー		渋川　裕史	
9	主将	金子　泰士	5年
1		中野　志玲	3年
4		岩田　健志	4年
5		渋川　皆叶	2年
6		岩田　清志	2年
8		堤　桃那	3年
10		小澤　侑史	3年
15		酒井　暖稀	3年
16		平江　蒼志	5年
17		野村　真翔	2年
17		宇井 璃空	3年
18		尾崎 一心	3年
19		中根　清遥	3年
22		小久保　和真	3年
25		山口　成稀	5年
33		岩永　武琉	3年
92		久保田　敦大	1年
99		別所　凛空	5年

豊橋・岡崎葵合同ボーイズ

代表		丹羽　英之	
監督		齋藤　隆布	
コーチ		鈴木　具巳	
マネージャー		岡部　寛史	
63	主将	田中　大翔	5年
1		川合　悠二	4年
4		山﨑　態心	4年
5		芹沢　　悠	5年
6		岡部　まな花	4年
18		酒井　啓輔	3年
36		岡部　凌芽	2年
88		志知　隆夢	5年
24		堀尾　成太郎	5年
21		谷口　怜皇	5年
55		赤松　和磨	4年

稲沢中央 ボーイズ

代表		林　　透	
監督		長尾　実	
コーチ		伊藤　文博	
マネージャー		石田　侑靖	
20	主将	堀場　梁源	5年
1		山田　大智	5年
3		夏目　航成	2年
4		木全　裕信	5年
5		大山　青葉	3年
6		大隈　楓莉	5年
8		北島　大巳	4年
9		佐藤　湊	5年
12		蔭山　奏弥	4年
14		加藤　翔太郎	5年
22		広田　爽真	4年
25		堀場　瑛心	3年
33		後藤　蓮旺	5年
44		山口　蒼麻	2年
54		腰山　潤人	5年

津ボーイズ

代表		中山　　貴資	
監督		前出　　知也	
コーチ		寺西　　雅和	
マネージャー		足坂　　巨次	
23	主将	栗田　　淳平	5年
1		矢田　　敦希	3年
4		伊藤　　咲太	5年
7		川瀬　　大陽	5年
8		武藤　　栄人	5年
10		竹内　　成央	5年
11		和田　　大輝	3年
16		松村　　斗真	4年
17		長澤　　辰	5年
18		猪股　　青葉	4年
22		石塚　　脩生	4年
24		津﨑　　海維	5年
63		山口　　拓海	4年

愛知豊橋ボーイズ

代表		大竹　香太郎	
監督		佐藤　彰秀	
コーチ		中野　誠司	
マネージャー		藤田　浩二	
11	主将	加藤　新大	5年
0		坪井　秀弥	2年
1		木下　純	3年
2		長坂　将吾	4年
3		加藤　未来	2年
4		百武　颯翔	5年
5		河合　光葵	5年
7		梅﨑　翔己	3年
8		平野　心太郎	2年
9		牛濱　友暉	5年
10		河合　天翔	3年
17		栗田　拓弥	2年
23		大津　寛太	4年
28		坪井　楓弥	5年
30		大竹　志拓	3年
39		蒲野　伶王	5年
41		栗田　隼杜	5年
44		伊藤　陸	4年

東海ボーイズ

代表		加藤　剛司	
監督		志賀　裕一	
コーチ		金井　慎司	
マネージャー		本多　久	
25	主将	開米　統生	5年
1		本多　功芽	5年
7		小澤　后都	3年
9		松井　廉	3年
17		佐藤　優	4年
19		本多　由芽	2年
21		開米　悠生	3年
27		伊波　凜之介	5年
31		鈴木　篤志	5年
44		田中　ランディ	3年

三重伊勢ボーイズ

代表		大橋　甚	
監督		吉田　雄一	
コーチ		畑　裕樹	
マネージャー		奥田　拓真	
5	主将	奥田　瑛翔	5年
6		滝川　琉太	5年
7		見並　奏太	5年
8		内田　泰雅	5年
9		大橋　草介	4年
10		奥田　怜臣	3年
11		見並　蒼太	3年
17		中村　拡貴	3年
12		南山　航也	2年
18		内田　鈴花	2年

全8チーム

サラスポーツ杯第43回日本少年野球小学生ジュニア東海大会

主催・協賛企業広告

日本少年野球小学生ジュニア東海大会歴代優勝チーム

大会回数	優勝チーム名	優勝回数
第1回	東海チャレンジャー	①
第2回	東海チャレンジャー	②
第3回	一宮ジュニアーズ	①
第4回	東海チャレンジャー	③
第5回	四日市トップエース	①
第6回	四日市トップエース	②
第7回	四日市トップエース	③
第8回	津ボーイズ	①
第9回	津ボーイズ	②
第10回	中京エンペラーズ	①
第11回	中京エンペラーズ	②
第12回	中京エンペラーズ	③
第13回	春日井ボーイズ	①
第14回	春日井ボーイズ	②
第15回	津ボーイズ	③
第16回	尾張ウイングス	①
第17回	津ボーイズ	④
第18回	四日市トップエース	④
第19回	東海チャレンジャー	④
第20回	東海チャレンジャー	⑤
第21回	四日市トップエース	⑤
第22回	四日市トップエース	⑥
第23回	東海チャレンジャー	⑥
第24回	津ボーイズ	⑤
第25回	津ボーイズ	⑥
第26回	尾張ウイングス	②
第27回	尾張ウイングス	③
第28回	尾張ウイングス	④
第29回	東海チャレンジャーボーイズ	⑦
第30回	津ボーイズ	⑦
第31回	四日市トップエースボーイズ	⑦
第32回	四日市トップエースボーイズ	⑧
第33回	尾張稲沢ボーイズ/ウイングス	⑤
第34回	四日市ボーイズ/トップエース	⑨
第35回	四日市ボーイズ	⑩
第36回	稲沢中央ボーイズ	①
第37回	東海ボーイズ	⑧
第38回	稲沢中央ボーイズ	②
第39回	稲沢中央ボーイズ	③
第40回	四日市ボーイズ	⑪
第41回	愛知豊橋ボーイズ	①
第42回	愛知豊橋ボーイズ	②
第43回	？	

公益財団法人
日本少年野球連盟
BOYS LEAGUE